

ニットクニュース

NITTOKU NEWS

No. **70**
2017新春号

【特集】
スイーツの魅惑



1 ご挨拶

代表取締役社長 酒井万喜夫

2~16 【特集】スイーツの魅惑

INTERVIEW

4 スイーツで人を笑顔に。

辻口博啓 ●「モンサンクレー」オーナーパティシエ

INTERVIEW

8 素材を生かし、レシピを超える。

西原金蔵 ●「オ・グルニエ・ドール」オーナーシェフ

12 スイーツの里、北海道へ。

17 ●INFORMATION

17 AIRDO特別塗装機「ベア・ドゥ北海道JET」にスカイハローが採用

18~23 ●得意先を訪ねて

18 【愛知・瀬戸市】カトー建材工業株式会社

20 【大阪市】ニットクメンテ株式会社 大阪支店

22 【大分・別府市】二和カラー株式会社

24~31 ●TOPICS

■塗料事業本部

●ニットク・アメニティシステム連合会――

24 「平成28年総会を東京・天王洲アイルで開催」

■自動車製品事業本部

26 「TNA社新倉庫竣工」塗り床材にユータックを採用

■自動車製品事業本部

26 「モーターファン・イラストレーテッド」Vol.121で当社自動車用防音材を紹介

■塗料事業本部

27 「御前崎風力発電所」でウインドハローが採用

■塗料事業本部

27 「湘南ひらつかテクノフェア2016」に出展」

■塗料事業本部

28 「飛燕レストアプロジェクト」に航空機用塗料で協力

28 ●新製品紹介 ユータックコンプリートG薄膜

■塗料事業本部

29 「平塚市博物館～ロケット特別展」で、当社のロケット産業への取り組みが紹介される

■塗料事業本部

29 「着氷防止塗料の開発」、宇宙航空研究開発機構(JAXA)との取り組み

■技術レポート

30 「ユータックTMプロテクト」

32~37 街を彩るニットクの製品

●発行日 2017(平成29)年1月
●企画・編集・発行 日本特殊塗料株式会社・広報委員会
●表紙イラスト 駒田寿郎
●制作協力 齋藤デザイン事務所



▲モンサンクレーのプチガトー



▲オ・グルニエ・ドールのスイーツ



▲柳月の「三方六」



▲ルタオのスイーツ

ご挨拶



●代表取締役社長
酒井万喜夫

明けましておめでとうございます。ご健勝、ご清栄のうちに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして素晴らしい一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。また、旧年中は格別のご高配、ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

東日本大震災からもうすぐ6年を過ぎようとしています。毎年毎年、今年こそは何事もなく1年無事に過ごせますようにと祈ってまいりましたが、残念ながら昨年も熊本地震が発生して甚大な被害が発生してしまいました。被災された方々には本当にお見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。ニットクでは、安全確保や塗料の生産・供給でお客様に御迷惑をおかけしないように、防災活動や事業継続計画(BCP)の構築をしっかりと進めさせていただきま。

さて、昨年、2017年4月に予定されていた消費税率の10%への引き上げが2019年10月まで2年半、再度延期されることになり、駆け込み需要とその反動減がなくなり、今年も非常に緩やかな景気回復ペースが続くと思われま。しかし、欧州は景気の不透明感があり、インド以外のBRICsや新興国の景気も減速が続き、米国の景気回復は持続する見込みですが、世界的に見れば景気は減速の傾向にあると予測されます。さらに、比較的安定していた原油価格や為替の動向も危惧され、いつものことですが、外的要

因で景気が回復することは今年も期待できそうにありません。

そのようななかで、日本全体の塗料の国内生産量は、リーマンショック以降、残念ながら長期低迷状態にあります。今後も国内需要が回復していくことはあまり期待できない厳しい状況にありますが、創意工夫の社是のもとで、高機能の塗料開発に長年携わってきた経験と実績から、これからも皆様とご一緒に粘り強く新たな市場と需要を開拓していきたいと考えています。今後とも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今年、当社は創立88年を迎えますが、基幹事業の塗料事業も自動車製品事業も、今後ますます環境問題、そして関連する新市場に向けた新製品の開発に取り組んでまいります。塗料事業では、防水材、塗り床材、屋根材などの高機能で環境配慮型の魅力ある新製品を拡充するとともに、これまで培ってきた技術により新たな市場向けの製品開発を加速させてまいります。また、自動車製品事業では2020年の車外騒音規制や燃費規制に向けての製品開発に邁進してまいります。

本年もいろいろな問題、そして課題に直面すると思いますが、弊社一丸となって皆様とともにチームワークよくチャレンジさせていただきますので、ご支援、ご協力を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。皆様の、ますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。

特集

スイーツの魅惑

甘い食べ物、とくに生の洋菓子を指す言葉として定着している「スイーツ」。
スイーツは、誕生日やクリスマスといった特別な日だけでなく、日常でも気軽に楽しめるようになった。
そして、ささやかなときめきと潤いを与えてくれる食べ物として、多くの人に親しまれている。
見るだけで思わず顔がほころび、口に含めば甘みが広がり、幸せな気分になる――。
そんな温かく、素敵なひとときをつくってくれるスイーツを特集する。



京都にある「サロン・ド・テ オ・グレニエ・ドール」で、左から「りんごのタルト」、「リンゴ畑」、「ピラミッド」。美しい姿と彩りがまず目を楽しませ、口に含めば甘味が広がり、幸福な気分になさせてくれる。

※本特集に掲載されている価格は、すべて消費税込みの価格です。

お客様の笑顔のために
スイーツ作りのすべてにこだわる

パティシエを目指すきっかけになったのは、小学校3年生の時に友達の家で初めて食べたショートケーキです。僕は石川県七尾市の和菓子屋の息子ですが、そのおいしさに衝撃を受けて「自分もこんなおいしいケーキを作る人になりたい」と思いました。

18歳で上京し、修業を積みながら、29歳でフランスの洋菓子コンクール「クープ・ド・モンド」で個人優勝。目標だったパティシエの世界一になれたことで、翌年、東京・自由が丘に自分のパティスリー「モンサンクレール」をオープンすることができました。

その「クープ・ド・モンド」の日本代表の切符を手に入れたいと、1996（平成8）年に「ソペクサ（仏大使館主催・仏食材を使ったプロ向け菓子コンクール）」



見た目にも美しいモンサンクレールのプチガトー。左から、キャラメリゼしたナッツとコーヒークリームの相性が抜群の「モンサンクレール」500円。ショコラブランのやさしい甘み、フランボワーズの爽やかな酸味、ピスタチオの生地バランスが絶妙な「セラヴィ」580円。ピスタチオのムースの中にブラックベリーのムースとジュレを閉じ込めた「ミュール」520円。

に出品し、優勝を飾った菓子のひとつで、当店オープン当初からあるのが「セラヴィ」です。このケーキは、コンクールの歴代の優勝者が使わなかった真っ

白なショコラ・ブランをメインにしたもので、甘くミルキーなショコラ・ブランの味わいにシャープさを加えるため、生地に旨味を増すピスタチオのビスキュ

イを用いて、フランボワーズで酸味をきかせた、僕のオリジナル。菓子のオリジナリティはブランドと同じです。僕はスイーツで世界観を表現すると同時に、お客様の期待を裏切らない、でも予想を超えるスイーツを作ろうと、日々のぞんでいます。だから粉やバターといった素材から製法まで、スイーツに関するすべてにこだわりますし、その思いはパッケージデザインをはじめとした店づくりにも反映されています。

ただ、オープン当初はお客様のほとんどが業界関係者。自由が丘は駅前に有名ケーキ店が軒を連ね、駅から10分も歩くうちの店まで一般の方に足を運んでもらえませんでした。せっかく作ったケーキも売れ残る毎日でしたね。

それでもチラシの配布やメディア出演など宣伝は一切しませんでした。というのも、一人のお客様を大切にしたいと思ったから。まだスタッフも育っ



「紅玉のシブスト」520円。作り立てなので表面の餡がパリパリ。使うフルーツは季節で変わる。

ていないなかで、大勢のお客様を相手に自分の世界観をきちんと提供できるとは思えなかったのです。また、オープン初日の出来事も大きかったですね。お客様から「すごくおいしかった」と声をかけられて、休業時代からの苦勞が

報われた気がしました。「パティシエになって良かった」と初めて心から思いました。その気持ちをずっと持ち続けたいと思ったのです。

なんとか自力で損益分岐点まで到達できたのは半年ほど経って。スタッフも慣れてきたので「よし、これでいける」とようやく確信が持てました。

そんなときに、テレビの「アド街ック天国」から出演依頼がありました。モンサンクレールの特徴は、こだわり抜いた材料と作り立てのおいしさ。そこで、表面の餡のパリパリ感で作り立てがよくわかる洋梨の「シブスト」を作ることに。カメラの前でキャラメリゼし、カットしていくと、それが大反響を呼びました。

街に溶け込むパティスリー
スイーツで日常に潤いを

モンサンクレールを始めたころ、「パティシエ」という言葉は世の中に浸透

I N T E R V I E W スイーツで人を 笑顔に。

●「モンサンクレール」オーナーパティシエ
辻口博啓

“スイーツ”という言葉には、単にケーキや洋菓子といった名称と違い、どこか人を幸せにしてくれる響きがある。

そんな魅惑的スイーツの世界を広めた代表とえば、パティシエの辻口博啓さんだろう。

世界の名だたる菓子コンクールで優勝。

「この人のケーキを食べたい!」と、

人々がパティシエでケーキを選ぶきっかけになった人でもある。

国内外に数多くの店舗を展開し、

スイーツ文化の発展にも尽力されている辻口さんに、

スイーツへの思いやその魅力を伺った。



並ぶスイーツを見るだけで思わず顔がほころぶ。自由が丘のモンサンクレールで。



つじぐち・ひろのぶ●1967(昭和42)年、石川県七尾市生まれ。「モンサンクレール」オーナーパティシエ、ショコラティエとして、東京・自由が丘の「モンサンクレール」をはじめ、コンセプトの異なる13ブランドを展開。2014年には初の海外店舗「モンサンクレール ソウル」をオープン。「クープ・ド・モンド」など洋菓子の世界大会に日本代表として出場し、優勝経験多数。お菓子教室「スーパースイーツスクール」を主宰するほか、後進育成のための「スーパースイーツ製菓専門学校」「スーパースイーツ調理専門学校」の校長を務める。芸術の世界を志す子どもたちを支援する「夢プロジェクト 子ども絵画コンクール」を毎年開催。2015年、NHKの連続テレビ小説「まれ」で製菓指導も務めた。一般社団法人日本スイーツ協会代表理事。石川県観光大使。三重県観光大使。金沢大学非常勤講師。産業能率大学客員教授。
<http://www.super-sweets.jp/>



上／「低糖質スイーツ ショコラカフェ」(手前)と「低糖質スイーツ ショコラショコラ」(奥)。小麦のふすまと粉末状の豆腐を焼き上げた生地に、砂糖不使用のチョコレートを重ねている。甘さはすっきりだが濃厚で食べ応えがある。1本は16cmほどで、糖質はショコラカフェが約28.3g、ショコラショコラが約35.4g。各1,815円。※ショコラカフェは、現在発売休止中。
下左／辻口氏が考案した、ボンボンショコラをカットするための道具「ショコラセパレーター」。カカオポッド型の柄に、刃をスライド収納できる。下右／糖尿病の専門医と開発した砂糖不使用のチョコレート「ショコラ・ユニバース」。砂糖不使用であることを全く感じさせないおいしさ。糖質は1枚約1.2~1.6gで、ビター、ミルク、ホワイトの3種類各2枚入り。1,080円。

していませんでした。一般には“ケーキ屋さん”です。でも、メディアへの露出が増えるにつれて“パティシエ”と呼ばれるようになり、しばらくして僕の記事に“スイーツ”という表現が使われるようになりました。そうして徐々に「辻口=スイーツ」が定着したように思います。このこともあって、日本スイーツ協会を設立。スイーツを日本の文化にするべく、スイーツコンシェルジュ検定やお菓子作り教室などを行っています。

おかげさまでモンサンクレールももうすぐ20年。当店から独立したパティシエたちが今、全国各地で店を構えています。みんなお菓子作りが大好きだから、すごく勉強していますよ。講習会に出てフランスやイタリアの最新技術をマスターしたり、地元ならではの食材をお菓子に取り入れたり。名古屋の店では八丁味噌をケーキに合わせていましたが、そういう斬新な発想が次々。店の

特徴を出すのは大事ですし、地産地消にもつながります。店長会議をすると、集まって来る情報が本当に面白くて、僕自身教わることがとても多いですね。

僕は常々、スイーツは特別なものではなくライフスタイルの一部であってほしいと願っています。街の雰囲気を肌で感じながらパティスリーに寄って、サロンでケーキとお茶をのんびり楽しむ。あるいは持ち帰って家族や友達と食べながら語らう。おいしいものは人を笑顔にしてくれます。スイーツでもっともっと笑顔になったり、潤いのある時間を過ごしたりしていただくと僕もうれしく思います。

チョコレートの世界での新たな挑戦

2016年、世界最大のチョコレートの祭典「サロン・デュ・ショコラ・パリ」で、4年連続の最高評価をいただきま

した。ショコラティエ(チョコレートの菓子職人)としての僕の仕事は、カカオ豆の選定に始まり、ナノプラントでナノ分子まで細かくして、最終的にベス



味はもちろん、彩りや載せるフルーツのサイズ、ケーキをカットした時の見た目の感動など、常に食べる人のことを想像して作る。



眺めるだけでも楽しいモンサンクレールのショーケース。モンサンクレールには、焼き菓子やパン、チョコレートを含め常時150を超えるアイテムがあり、そのうちの25種類前後のケーキがショーケースに並ぶ。人気のあるものは早い時間に売完に。ショーケースの背後には厨房があり、菓子作りの様子が見られる。また、サロンもあり、店内でスイーツを味わえる。

トな舌ざわりや口どけ、香りなどを作り出していきます。もしかしたら塗料の世界と似ているかもしれませんが。塗料も発色や光沢感、さらにどのような組み合わせできれいに伸びるかといった多くのノウハウがあるのではないのでしょうか。そういうこだわりはとても身近ですし、興味があります。

実は今、チョコレートの新たな世界を国内外に発信しようと、さまざまな企画を進めています。その一つがショコラテイスターという職種を作ること。そのためにショコラセパレーターという道具を開発しました。チョコレートも発酵食品。セパレーターでカットして、カカオの産地や熟成具合をテイスターングするのです。「サロン・デュ・ショコラ・パリ」で発表したところ、予想以上の反響がありました。

“パティシエ”や“スイーツ”という言葉が世の中に定着し、それによってさまざまな付加価値を作り出すことがで

きたように、今度はチョコレートの世界で挑戦したいと考えています。

スイーツともっと上手につき合うために

洋菓子の世界に入って30年。僕も年齢を重ね、新陳代謝の低下とともに、20代30代では気づかなかったことを最近意識するようになりました。そこで湧いてきた野望が、いかにして健康で



モンサンクレールの外観。モンサンクレールとは、南仏ラングドック地方のセットにある聖なる丘の名で、辻口さんがパティシエとして自分の信念を貫く決心をした場所だという。東京都目黒区自由が丘2-22-4/☎03-3718-5200/11:00~19:00・サロン11:00~17:30(ラストオーダー)/水曜定休(臨時休業あり)

100歳を超えるか(笑)。今、未病におけるスイーツの在り方を探求しています。

2015年、糖尿病の専門医と一緒に、血糖値を上げないチョコレート「ショコラユニバース」を開発しました。糖尿病の方だけでなく、高齢者やアスリート、美容を気にしている方などにも安心して楽しんでいただける砂糖不使用のチョコレートです。糖との付き合い方を考えることは健康寿命を延ばすことにつながります。そのための環境作りが、これからの時代は必要になるでしょう。

また、菓子作りで特に重要な原料は乳製品です。さまざまな国のものを扱いましたが、やっぱり日本の乳製品が一番です。これからも、恵まれた原料、最高の素材を使って、より幅広い方々に向けて魅力的なスイーツをお届けしていきたいと思います。誰かの笑顔や、日々の生活の潤いにつながることを願って……。

パティシエとしてのベースは 人生で2度受けた食育

京都にある私の店には、秋になると「りんごのタルト」が並びます。名前は「りんごのタルト」ですが、品種は収穫時期で変わります。9月に入って最初に青森の農家から届くのが「つがる」。9月半ばから後半になると「紅玉」が届き、紅玉は年内か長ければ年明け初めまで。他にも「ふじ」など、その時々々の味覚を楽しんでいただけます。1年後を楽しみに帰られるお客様もいらっしゃいます。もちろん、品種に合わせて砂糖やバターなどの配合は変えますが、パティシエとしての私の技術などわずかなもの。すべてフルーツ次第

なのです。

素材を生かした菓子作り——。それが私の仕事の基本です。そう考えるようになったのは、人生経験……と言ったら少し大きいかもかもしれませんね。でも、私は生まれてこの方、大きく2度“食育”を受けたと思っています。その経験がいまに生きています。

1度目は、生まれ育った岡山時代に遡ります。我が家は祖父母と両親、姉3人に私という兼業農家の大所帯。食事のとき、とれた新米や初物は神棚にお供えてからいただきました。大人たちの会話は「今年の米は香りがいい」「野菜に甘みがある」など。いままえば、素材を味わうことやおいしさを家族みんなで共有していたんですね。

振り返れば、私がスイーツの世界に入ったのも、このころからの甘いもの好きが原点のように思います。当時のおやつといえば甘い果物。祖母が年に1度か2度作ってくれる和菓子は何よりの楽しみでした。高校卒業後、いったん社会に出てから専門学校で料理全般を学び、その後好きなお菓子の道に進みました。

2度目の食育は、フランス料理界に多大な影響を与えた料理人、アラン・シャペルさんとの出会いです。30代のころ、フランスのシャペルさんの店で製菓長として働く機会を得ました。出張には必ず同行し、食事のときは横に座って、振る舞われる料理一つひとつを同じタイミングで口に運びました。シャペル



「りんごのタルト」は、芯を抜いた皮付きのリンゴをドーナツ状にスライスし、生クリームにくぐらせて生地に乗せる。加熱によりリンゴの汁が生地にしみ込んでおいしくなる。390円。

さんがおっしゃる感想を体感しながら共有するという、贅沢なマンツーマンの食育です。そのなかで素材を大切にすることを学んでいきました。当時の体験は、いまでも私のよりどころです。

テクニックで 素材を生かす

店には「畑シリーズ」と呼んでいるケーキがあります。いまの時期は紅玉を

使った「りんご畑」で、ムースとタルトの2層の生地の土台に、カットしたリンゴが載っています。収穫時期に合わせて「メロン畑」「りんご畑」「イチゴ畑」「日向夏畑」……と、1年を通してフルーツが巡っていきます。これら思いついたのは、青森のメロン畑を見学したとき。「このフレッシュなおいしさを、どのようにお菓子に取り入れられるだろう」と考えました。だからフルーツはあえて生。一切手をかけてい

ません。載せる素材に合わせて砂糖などは調整しますが、フルーツ自体の味が非常に大きなウェイトを占めるスイーツです。「フルーツのタルト」も、使っている10種類近くのフルーツは季節で変わります。

また、当店のフルーツはいわゆるB級品が主で、農家から直接仕入れていきます。形が揃っていないかたり傷があったりして、生食用の出荷ができないものです。とはいえ味に差はありませんし、そこを技術でカバーするのが我々の仕事。要はいいとこ取りするのではなく、生産者にきちんと収益を得てもらうためです。

実はこの考えも、フランスでシャペルさんから教わったことです。あるとき、完熟をとうに過ぎたフランボワーズやイチゴが厨房に届きました。私が「これは使えませんね」と言うと「良くないものを買わなければ、生産者は良いものを作ることもできないんだよ。生産者とい関係を持つことが大事なんだ」とおっしゃったのです。

最近では、さまざまな農家から「こんな果物がありますが、お菓子に使える

I N T E R V I E W

素材を生かし、 レシピアを 超える。

●「オ・グルニエ・ドール」
オーナーシェフ **西原金蔵**

京都・錦市場のそばにパティスリーとサロンを構える西原金蔵さん。
“厨房のダヴィンチ”と称されたフランスの料理人、
故アラン・シャペル氏から絶大な信頼を得たパティシエだ。
菓子作りにおいて、素材を生かすことへの情熱は人一倍。
なかでもフルーツへのこだわりは強い。
そんな西原さんが作るスイーツを楽しみに、
京町屋を利用した「サロン・ド・テ オ・グルニエ・ドール」には
多くのファンが訪れていた。



にしはら・きんぞう ● 1953 (昭和28)年、岡山県生まれ。京都グランドホテル、辻調理師専門学校を経て、1978年に渡仏。和食店、フランス料理店に勤務するかたわら、1981年に「アルバジヨンコンクールピエスモンテ部門」銅賞受賞。帰国後、神戸「アランシャペル」に入社。1987年に再度渡仏し「アランシャペル」ミヨネー本店の製菓長就任。帰国後は東京・銀座の「資生堂パラー」「ロオジエ」「ホテルオークラ神戸」でシェフパティシエを務める。2001年京都に「パティスリー オ・グルニエ・ドール」をオープン。菓子教室「エスパス・キンゾー」を開講。2010年「サロン・ド・テ オ・グルニエ・ドール」をオープン。



生のリンゴを使った「りんご畑」510円。リンゴの酸味とあんずジャムの甘みのバランス、シャキシャキの食感がたまらない。生のリンゴをケーキに使うのは珍しいが、生地との相性は抜群。



「フルーツタルト」1,100円。小ぶりなイチゴも全体のなかで調和がとれている。生地を軟らかく作る店もあるが、これはしっかりと硬い。手で持って食べてもいいそうだ。



濃厚なチョコレートのケーキ「ピラミッド」550円。かつて、シャベル氏と訪れたルーブル美術館のレセプションパーティーで見た、美しいガラスのピラミッドを表現。

せんか？」という提案をいただきます。もうずいぶんいろんな地方にお邪魔して、素材を見ながらイメージをふくらませてきました。本当にありがたいことです。

スイーツの世界は どんどん面白くなってきた

日本のスイーツは、この30年くらいでどんどん変化していると感じます。私が東京・銀座の「資生堂パーラー」で働いていた1990年代、スイーツの典型的な褒め言葉は「甘くないからおいしい」。食感も軟らかくて口の中で溶けていくようなものが上質とされました。そんななか、私が「資生堂パーラー」で初めて作ったのがチョコレートケーキの「ピラミッド」です。友人に最初に食べてもらったとき、「ひっくり返りそうなケーキだな」と言われたことを覚えています。甘くて形はシンプル、すべてにおいて当時はかなりのインパクトでしたから。

その後、作り手がクローズアップされるようになりました。パティシエが注目されれば商品に込めたコンセプト

も伝わります。スイーツに対するお客様の捉え方も広がるので、スイーツの世界が面白くなりましたね。おいしさの表現も、以前は使わなかった「苦み」「渋い」「酸っぱい」といった言葉を聞くようになりました。

いま好まれるスイーツは、しっかり甘くて、素材本来の味を主張できているものではないでしょうか。食感も、1つのケーキに軟らかいと硬いが同居している



オーディオや楽器、ジャズの名盤など、西原氏の趣味の世界が広がる店の2階で話を伺った。また、人間関係を大事にする西原氏らしく、店のスタッフの対応も気持ちがいい。

もの。30年前とは打って変わってメリハリがあります。さて、これからはどうなるでしょう。とても楽しみです。

素材へのやさしい思いが レシピを超える

シャベルさんの著書に『ルセットを超える』というタイトルの本があります。レシピを超えるということですが、最初はその意味がわかりませんでした。そもそもお菓子の世界は、決められた配合や作り方をいかに守るかだと教わるからです。もちろん、それも1つの方法です。でもシャベルさんの考えは、素材は一定でないため、配合や調理法を常に変える必要がある。基本を大事にしながらも、素材を最大限に生かすために、その特徴を見抜く力を持つことが大切というわけです。

つまり、まずは素材ありきで、そこにテクニックを加えていく。だから私のお菓子にレシピはほとんどありません。「エスパス・キンゾー」というお菓子教室も開いていますが、そこでの指導も私はひたすらイメージを伝えます。生徒さんはそれをヒントに想像をふく



使われているフルーツも一緒にディスプレイされたショーケース。素材を大切にしている西原氏の思いが伝わる。アートのようで鑑賞していただける。

らませながら作っていきます。

また、私は早いうちから野菜なども菓子作りに取り入れてきました。食材を見るといろいろイメージが湧いてくるのです。「りんごとおからのクリュスタッド」は、近所の湯葉屋さんが湯葉を引くために出たおからを使ったもの。青森と京都の融合スイーツです。容器を工夫したものもあります。「プティ・ボ・オ・フロマージュ」は、奈良

の主婦の方のアイデアで、陶器のカップを再利用するデポジット方式を採用。山の土を大事にしたいというその方の愛情をホワイトチョコレートのハートに表現しました。

ところで、私はこれまでフランスや国内で一流といわれる店で働いてきました。そこで感じ取った感覚を、ごく身近な人たちはどう評価してくれるだろうと常々思っていました。それが、京



おからに生のリンゴとシナモン、砂糖、胡椒を混ぜて包み、焼き上げた「りんごとおからのクリュスタッド」440円。サクサクの作り立てもいいが、おからの水分が染み出す翌日も美味。



チーズのクリームブリュレ「プティ・ボ・オ・フロマージュ」はジャスミンティーの風味が豊か。パリッとしたホワイトチョコを崩しながらいただく。540円。カップはリサイクルのため店内で食べると490円。



サロン・ド・テ オ・グルニエ・ドールの外観。京町屋造りで坪庭もある。京都市中京区堺町通錦小路上ル菊屋町519-1/☎075-468-8625/11:00~19:00/水曜定休(月1回火曜または木曜に休み)

都でパティスリー「オ・グルニエ・ドール」を2001年に始めた理由です。おかげさまで多くのお客様に来ていただき、狭い店内でお待たせすることが増えてしまいました。2010年には斜め向かいに「サロン・ド・テ・オ・グルニエ・ドール」をオープン。典型的な京町屋造りの店内で、フランス菓子をゆったりお召し上がりいただけます。

ただ、私は「オ・グルニエ・ドール」のオープン日に、閉店日を決めました。へそ曲がりなんです(笑)。それが65歳の誕生日なので、あと1年半。うまく閉店ができれば事業計画達成です。一度すべてをゼロにして、自分を静かに見つめ直して、その後どう生きるか。レシピのない菓子作りにも似ていて、考えると幸せな気持ちになります。

スイーツの里、北海道へ。

牛乳、バター、チーズ、小麦、卵……。

菓子作りの主原料の代表的生産地と言えば北海道だ。

良質な原料に恵まれ、北海道には製菓会社や個人の店舗が数多く存在。

旅行会社が北海道ツアーにスイーツ巡りを組み込むなど、

スイーツ目当ての旅行者も増えている。

地元の人たちに愛され、

観光客にも人気の洋菓子店を、

十勝と小樽を訪ねた。



小樽の洋菓子店「ルタオ」の「ドゥーブルフロマージュ」。開店以来大人気のケーキ。

スイーツ王国の“道の駅”に十勝「柳月」

抜けるような青空と、遠くに雪をかぶった日高山脈。周囲は収穫を終えた広大な畑。十勝地方を車で走ると、これぞ北海道という景観が広がっている。ここ十勝は、北海道のなかでも特に菓子産業が盛んな、まさにスイーツ王国。おいしい水や肥沃な土壌が、菓子作りに欠かせない質のいい乳製品や農作物を育てているのだ。“晴れの国”ともいわれる全国有数の晴天圏で、一日や年間を通しての寒暖差が、作物の甘味を増すための好条件となっているらしい。

そんな十勝で、70年前から菓子作りをしているのが「柳月」。白樺の薪を模した銘菓「三方六」で知られる老舗である。音更帯広インターチェンジのすぐそばにある「スイートピア・ガーデン」は、同社が「人が集まる“道の駅”のような存在になりたい」という思いで2001（平成13）年にオープンした施設だ。お菓子の販売に加え、喫茶コーナー、

工場見学、菓子作り（有料）が体験できる。土産を買いたい観光客のほかにも、喫茶コーナーは地元客らしい老夫婦や親子連れなどで賑わっている。

「お菓子を通じた家族団らんが創業時からの願いです。気軽にお買い求めいただけるよう価格を抑え、ご来店いただく楽しみになればと新商品も毎月開発しています」と語るのは、企画開発室の森義澄さん。季節の素材を生かした商品開発はもちろん、健康志向を意識して腸内環境を整える乳酸菌を使ったスイーツなど、定番商品を含め、年間300種類もの商品を販売している。

スイーツを低価格で提供できるのは、



「柳月」企画開発室の森義澄さん。暮らしに密着したお菓子屋さんとして「柳月」を志望。地元の豊かな食材や流行などをヒントに新商品開発を行っている。



柳月「スイートピア・ガーデン」は体験型のスイーツスポット。札幌から高速道路を使えば2時間半。河東郡音更町下音更北9線西18-2 / ☎0155-32-3366 / 冬季9:30~17:30・夏季9:00~18:00

輸送コストがかからない地元産の原料を多く使っているから。しかも新鮮な牛乳や乳製品、卵がふんだんに使われているので、味のクオリティが高い。

* *

人気の「三方六」に使用される小麦は独自に開発したものだそう。もともと音更町は日本一の小麦の産地だが、菓子作りには向かない中力粉。そのため、地元の製粉会社と共同で研究を重ね、品種改良と製粉の工夫で専用的小麦粉を作り上げた。それが「三方六」の大きな特徴であるしっとり食感のペー



銘菓「三方六」は1968（昭和43）年に全国菓子大博覧会に出品され、高い評価を得た。ホワイトチョコとミルクチョコレートで白樺の木肌を表現した、北海道ならではの逸品。チョコレートバリッとした歯触りとバウムクーヘンのしっとりした食感が特徴で、十勝産100%の小麦粉をはじめ、バター、砂糖、卵はすべて北海道産を使用。1本630円。俳優の森繁久彌さん、作家の三浦綾子さんも好んでいた。



左／濃厚なクリームを真っ白い生地で巻き、白樺をイメージした「樺の木」1本1,100円。
右／北海道洞爺湖サミットで、首脳夫人たちのお茶会で振る舞われた「ファーストレディ洞爺」6個入り2,390円



左／「三方六 濃い白小割」。真っ白なバウムクーヘンは、北海道の雪を思わせる。ざらめ糖のしゃりしゃりした食感と、練乳と生クリーム仕立ての濃厚なミルクの味わいの組み合わせが絶妙。5本入り700円。
右／「スイートピア・ガーデン」の広々とした店内には、工場直結だからこそ作り立ての菓子が並ぶ。洋菓子だけでなく和菓子も含め約200品目。和洋折衷のスイーツも人気だ。

スになっているのだ。

「本場ドイツのバウムクーヘンは少しパサパサした感じですが、日本人はお米を食べる民族なので、しっとりした食感が馴染んだのだと思います」と森さん。今でこそバウムクーヘンは定番の人気スイーツだが、50年以上前からのロングセラーだそうで驚きだ。

ところで、「三方六」の名前は三方が6寸(約18cm)という薪の割り方が由来という。工場では、その製造ラインの見学もできる。1本の丸太状のバウムクー

ヘンの表面に手作業で白樺模様をつけ、8等分に切り分ける。乾かす時間を含めると、完成までに3時間から3時間半。作る工程を見れば、より食べる楽しみも増す。外国人や社会科見学でやって来る地元の小学生にも好評という。

* *

柳月には、ほかにも北海道ならではの菓子がある。ロールケーキの「北海道ロール・樺の木」は、全体のどっしり感と白く美しい生地でできた木肌が、まさに白樺。「三方六 濃い白小割」は、

バウムクーヘンをホワイトチョコレートでデコレートし、上にざらめ糖を散らしたものだ。封を開けて手のひらに乗せると、樹氷がきらめく小さな銀世界が広がるよう。甘くて濃いミルク味に思わず笑みがこぼれる。そして、インターネット販売のみの「ファーストレディ洞爺」は、北海道産クリームチーズとマスカルポーネチーズが2層になったチーズケーキ。2008年の洞爺湖サミットで、各国の首脳夫人が参加したお茶会で振る舞われたそうで、優雅なティータイムが過ごせそうな一品だ。

「柳月」は洋菓子だけでなく和菓子の製造・販売も行っている。国内生産量1位の十勝の小豆を使ったケーキなど、和テイストを巧みに取り入れたものも。いずれも、見て、食べて、十勝の雄大な風景や自然が感じられるスイーツがそろっている。



「スイートピア・ガーデン」では「三方六」などの菓子製造を工場見学できる。そのほとんどの工程が手作業。素材だけでなく、衛生管理にもこだわり、食品衛生管理システム「北海道HACCP(ハサップ)」を導入している。



冷凍の「ドゥーブルフロマージュ」(1,728円)は取り寄せることができる(上)。完全解凍すれば生のケーキと同じ味が楽しめるが、半解凍で食べてもおいしい。なお、店内では、できたての生クリームが載っている「ドゥーブルフロマージュ」のカットケーキ(410円)を販売している(左)。本店2階のカフェでは、これらのスイーツをゆったりと味わえる。雪を見ながらのティータイムは幸せなひと時。

口どけのよい生クリームが魅力 小樽「ルタオ」

小樽は石狩湾に面し、運河で知られる港町。その小樽運河からほど近いショッピングとグルメの中心エリアに、1998(平成10)年から店を構えているのが「小樽洋菓子舗ルタオ」だ。

オープン当時、この辺りの名物といえば硝子とオルゴールと海鮮料理だった。そこで「洋菓子を小樽の新しいシンボルにしたい」との願いを込め、メ



「ルタオ」本店。小樽市堺町7番16号／☎0120-46-8825／9:00～18:00(季節により変更あり)

ルヘン交差点の一角に西洋建築の小塔の店舗を建設。ノスタルジックな街の雰囲気によく合い、今ではこの小塔をバックに記念撮影をする観光客も多い。

* *

その「ルタオ」本店の店長を務めているのが葛西純樹さん。「小学生の頃からケーキ屋さんで働きたいと思っていました。ケーキは人を幸せにする食べ物。誕生日のうれしい記憶と重なります」と語る29歳だ。

店を代表する人気のスイーツが「ドゥーブルフロマージュ」。濃厚なベイクドチーズケーキと軽いレアチーズケーキが2層になっていて、食感はふんわり。口どけがよく、爽やかな生乳感が口いっぱい広がる。もともと店の目

玉商品にしようとして、オープン時に原料と製法にとことんこだわって作り出した。味を大きく左右するチーズは、店のトップパティシエが海外にまで目を向け、ようやく探し出したという北イタリア・ロンバルディア地方産のマスカルポーネ。乳脂肪分が高く、クリームのようななめらかさが特徴で、他の材料と合わせて製造していく過程でミルクの味が引き出されるという。

この「ドゥーブルフロマージュ」、オープン当初はカットケーキで店頭販売していたが、土産に飛行機で持ち帰りたいというお客の声が年々増え、それに応える形で冷凍技術を開発。その後も試行錯誤を重ね、3年ほど前からは全方向からの冷気で一瞬にして凍らせる最新の方法を導入した。自然解凍すれば作り立ての味や食感がそのまま楽しめる。インターネットでも販売している一番人気だそう。

* *

「ルタオ」のスイーツで特筆すべきが、北海道産の牛乳から作る生クリームだろう。葛西店長によると「究極の口どけ感とふわふわ感を出すために、



「ルタオ」本店の葛西純樹店長。販売スタッフを経て5年前から店を任されている。小樽の魅力は「建物やシン祭りなど、古いものを大事にしている、人がとてもフレンドリーなところだ」。



特製生クリームとイチゴがみずみずしい「ガトーフリーズ」388円。絞り立ての生クリームがたっぷり味わえる。



抹茶のムースのプルプル感と、土台のクランチのサクサク感が楽しめる「CUBE:matcha agrume」421円。



キビ砂糖を使ったプリン「クレームキャラメル」378円。濃厚さとなめらかな舌触りが特徴。

研究を重ねて最適の殺菌温度と乳脂肪率を見つけました。それに加え熟練の技術も必要で、専門学校や他店で経験を積んできたスタッフでさえ、最初は全然泡立たないんですよ」とのこと。そんなパティシエ泣かせの生クリームが、「ルタオ」ならではのおいしさを作り出しているのだ。

この自慢の生クリームがたっぷり載った「ダブルフロマージュ」を店内でいただくことができる。生クリームの爽やかな甘みと口どけが濃厚なチーズととても合う。特に鮮度が命の特製生クリームのため、葛西さんも「北海道でしか食べられない味です!」と



「ルタオ」特製の生クリームを泡立てるパティシエ。厨房はガラス張り、作りの様子を店内から見ることができる。

胸を張る。北海道を訪ねた際はぜひ味わいたいスイーツだ。

同店には他にも、生クリームとイチゴが載った「ガトーフリーズ」、ペースト状のキビ砂糖プリンが濃厚な「クレームキャラメル」、抹茶色のキューブ型がユニークな「CUBE:matcha agrume」など、色とりどりのカットケーキがあり、食べる楽しみをそそられる。

* * *

「ルタオ」でもう一つ、オープン当初から人気のスイーツが、チョコレート「ロイヤルモンターニュ」。小ぶりかわいいうらみ型は、理想の口どけを考えてたどりついた形状なのだとい



「ロイヤルモンターニュ」675円。開店当初は道行く人に1個ずつ試食してもらい、徐々に人気商品になった。



カットされた生ケーキが並ぶショーケース。他にも焼き菓子やチョコレートなどがあり、買い求める外国人観光客も多い。

う。口の中でゆっくりと溶けながら、カカオとダージリンの香りが鼻に抜け、溶けた後はリラックス感に包まれる。そんな五感で楽しめるチョコレートである。

「ルタオ」のお客は9割以上が市外や道外から。「おかげさまで多くの方に店を知っていただけるようになりましたが、昔から買い続けてくださっている地元のお客様が、従業員たちの大きなモチベーションになっています」と葛西店長は語る。以前は自分用にケーキを買い求めていたのが、最近は孫のためにと買って行く人も少なくないそうだ。心温まる話である。

寒さ厳しい北の大地のスイーツは、家族団らんがよく似合う。そして、店が土地にしっかりと根を張り、恵まれた素材を生かしながら、よそには真似のできない商品作りに力を入れている。

AIRDO特別塗装機「ベア・ドゥ北海道JET」にスカイハローが採用

「ベア・ドゥ北海道JET」に当社の航空機用塗料「スカイハロートップコートFLV2」が



採用されました。同機はAIRDO設立20周年を記念した特別塗装機で、「北海道の翼」として「北海道にこだわったサービスを提供する」というコンセプトの一環で導入されたものです。昨年の7月29日より運航を開始し、すでに羽田発札幌・旭川・函館・女満別・帯広の各路線に就航しています。

デザインは、「北海道の四季」をモチーフとしたものになっています。これは社員投票で選ばれたものだそうです。ポー

イング767-300型機の機体いっぱい、春の桜、夏の美瑛の丘、富良野のラベンダー、帯広のサイロ・牧草ロール、秋のフクロウ、美瑛のPATCHワークの路、キタキツネ、冬の雪、函館ハリストス正教会、札幌市時計台、雪山などが描かれています。とても北海道への想いが感じられるデザインです。今度のお休みは、「ベア・ドゥ北海道JET」に乗って北海道旅行を計画してみるのはいかがでしょうか？

「ベア・ドゥ北海道JET」の塗装工程を公開!

1 デザイン塗装をする場合、まずはすべての機体整備を終えたあと、全体をベースカラーで塗装します。「ベア・ドゥ北海道JET」の場合は、機体は海外で整備され、真っ白に塗装された機体を使用し、伊丹空港の格納庫で塗装されました。



2 デザイン通り綺麗に塗装をするため、機体にデザイン画から作成したマスキングシートを貼り付けていきます。図面を見ながら、すべて作業員の手作業で貼り付けられます。



3 面積の大きなところは、エアレススプレーを使い、決められた量を吹き付けて塗装していきます(左)。ラダーなど、取り外して塗装するものもあります。また、文字や細かい塗装には、ローラーや刷毛も併用します(右)。



今回、全18色の塗料が採用されました。

4 すべてのマスキングをはがして、完成です。これらの塗装の様子は、インターネットでも特別塗装機の特設サイトのなかで公開されています。動画や映像で紹介されていますので、こちらも一度ご覧ください。
<http://www.beardojet.jp/>



カトー建材工業株式会社



サラリーマン時代と創業当時の苦い経験が、いまの堅実な経営に生かされています。お客様に「安心」を届けながら、信頼され、必要とされる企業を目指していきたいですね。

代表取締役 **加藤正和**



瀬戸市街を流れる瀬戸川。左に見えるのが名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅で、9月に開催される「せともの祭」では、周辺は毎年約50万人の出入で賑わう。



▲多くの製陶所があった洞町にある散策路「窯垣の小径」。窯道具で築かれた塀が連なる小径で、かつては陶磁器を積んだ荷車が行き交ったという。



▲織部瓦で葺かれた屋根が美しい「深川神社」の拝殿。瀬戸の産土神を祀っており、創建は771（宝亀2）年。隣には、鎌倉時代にこの地で陶器の製造を始めた加藤景正（藤四郎）を祀る「陶彦社」が建つ。



3階には皆が話をしやすい円形のテーブルがある（左上）。2階は個々のスペースが仕切られ、社員からも好評を得ている（右上）。1階の会議室（上）では、毎朝、職人が集まり、当日の工事の打ち合わせが行なわれる。

愛知県北西部にあり、北は岐阜県の多治見市と土岐市に接する瀬戸市。この地の地名に由来する「せともの」という名称が焼き物の代名詞になるほど、古くから日本有数の陶磁器の生産地として知られています。近年は街全体を博物館に見立て、「せと・まるっとミュージアム」を展開しています。

* * *

その瀬戸市に本社のあるカトー建材工業株式会社をお訪ねし、代表取締役の加藤正和さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●1978（昭和53）年です。勤めていた会社を退職するときに、取引先だったディーラーの番頭さんに背中を押され、独立しました。ちょうど30歳のときです。当初は自宅を事務所にしていましたが、1989（平成元）年にこの地に移ってきました。

■以前の会社でも工事の仕事をしていましたのでしょか？

●以前は防水工事会社で、防水工事や外壁の吹き付け工事を担当していました。塗装工事に取り組んだのは独立してからです。これからはセットで請け

負わなければこの業界で生き残れないと思ったからです。

■社名の由来でもあるのでしょうか？

●「塗装」や「防水」というと業種のイメージが限定されますが、「建材工業」であれば、幅が広い分野を手がけられます。建物にかかわるオールラウンダーの企業でありたいという願いも込められています。

■創業直後は石油危機でしたが……。

●当時の景気が底辺で、下がらないと思っていました。どのような工事でも受注して夢中で仕事をしていました。しかし、3年間で取引先の倒産が相次ぎ、不渡りがずいぶんありました。そのときもディーラーさんが応援してくれました。

■40年近く経営されてきたなかで、印象深い出来事をお聞かせください。

●やはり不渡りに相当遭ったことですね。それがいい経験になりました。その後、仕事の大小ではなく、堅実な取引先を選んでお付き合いをさせていただいています。当社も安全な経営を心がけるようになりました。社員ががんばってくれているので、おかげさまで

38年間、業績の浮き沈みもなく、堅実な経営を続けています。

■営業しなくても仕事を依頼される堅実な会社に

■経営方針をお聞かせください。

●社会に貢献して、お客様から信頼され、必要とされる会社を目指すということですね。営業しなくても仕事をお願いされる会社が理想です。その結果を、社員の生活を豊かにすることにつなげていきたいと思っています。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●比率としては、内外装と塗り床工事などの塗装関係が6割で、残りは防水工事です。最近は新築が減り、改修工事が増えたこともあり、防水工事が伸びています。物件としては、学校や役所関係など、公共施設が多いですね。愛知県だけでなく、岐阜県の物件も請け負っています。



▲縄文時代から現代までの陶磁器を総合的に展示する「愛知県陶磁美術館」。敷地内の「陶芸館」では作陶の体験もできる。

中京圏の地上デジタルテレビ放送を送信するため、2003年に設置された電波塔「瀬戸デジタルタワー」。隣接する「瀬戸市デジタルリサーチパークセンター」にはスタジオや電子会議室がある。▶



■塗装業界にはどのようなことが求められているとお考えでしょうか？

●やはり「安心・安全」ではないでしょうか。適正な工事価格はもちろん、丁寧な工事、工期の厳守が求められていると思います。その安心感が信用につながり、収益性も向上すると考えています。そのためには、工事のスタッフの技術力が重要です。

■自然体で話せる社内の雰囲気づくり

■技術力の向上のために取り組まれていることをお聞かせください。

●工事に限らず、何事にも失敗は必ずあります。ミスやクレームを一人で抱え込むのではなく、報告してほしいと社員には伝えています。みんなに相談して、なぜ起こったのか因果関係を考え、間違いを改善していくことが大事です。サラリーマン時代に自分がいや

だったことを社員にさせようとは思いません。自然体で話せる雰囲気づくりを常に心がけています。

■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●前の会社に勤めていたころからお付き合いはありました。独立するときも協力していただきました。ニットクさんの塗り床材「ユータック」のウレタン厚膜で施工した工場の床に陶器を落としても割れなかったという逸話もあり（笑）、ずいぶん仕事をさせていただきました。「ハイプルーフ」など、外装材も使わせていただきました。「ハイプルーフ会（現ニットク・アメニティシステム連合会）」にも当初から入っています。いまは防水材と塗り床材が多いですね。

■ニットク・アメニティシステム連合会へのご要望をお聞かせください。

●今回、当社の所属する東海地区が購



▲本社社屋。「1989（平成元）年にここに移り、もともとあった菓子店の平屋の建物を倉庫として使っていましたが、その1年後に現在の社屋を建てました」。

買量で初めて全国で1番になりました。地区の購買量を計算することは少ないと思いますが、競争意識が生まれ、会の活性化につながればうれしいですね。

■趣味をお聞かせください。

●周辺はゴルフ場が多いのですが、お付き合いで行く程度です（笑）。休日は、当社の倉庫の近くの果樹園に足を運んでいます。柿や栗、ザクロ、ピワ、ブドウ、ミカンなどの木があり、季節の果物を楽しんでいます。妻も畑で野菜を育てています。社員にも分けますので、新鮮な果物や野菜を味わえると、喜ばれていますよ。

■本日はどうもありがとうございました。

PROFILE

- カトー建材工業株式会社
(東海ニットク・アメニティシステム会会員)
- 創業/1978（昭和53）年10月1日
- 資本金/1,000万円
- 代表者/代表取締役 加藤正和
- 所在地/〒489-0954
愛知県瀬戸市台六町532-4
電話 (0561) 84-9811
FAX (0561) 84-8947
- 事業内容/防水工事、塗装工事、塗床工事、
ポンド注入・止水工事
- 従業員数/10名

ニットクメンテ株式会社 大阪支店

私たちは「技術者」の集団です。各自がそのスキルをさらに向上させて同業他社との差別化をはかっていきたいですね。

取締役副社長 **高 淳一**



新社屋が完成し、仕事に対する意識も変わりました。これを機に、従業員にチャンスを与え、底上げしていきたいですね。

執行役員 大阪支店長 **佐山幸誠**



◀落ち着いた雰囲気の中、1階ロビーに集まったニットクメンテ株式会社の役員の方々。左から、執行役員で東京支店長の田中領一さん、代表取締役社長の土井義彦さん、取締役副社長の高淳一さん、執行役員で大阪支店長の佐山幸誠さん。

瀬戸内海・大阪湾に面し、古くからアジア全域の玄関口として栄えてきた大阪市。近世は豊臣秀吉が築いた大坂城の城下町として、江戸時代には天領として発展を続け、現在も西日本の政治・経済・文化の中心を担っています。

* *

その大阪でマンションの大規模改修などを手がけ、今回36回目の創立記念日である2016(平成28)年6月6日に、同市西区に新社屋を竣工されたニットクメンテ株式会社大阪支店をお訪ねし、取締役副社長の高淳一さんと大阪支店長の佐山幸誠さんにお話をうかがいました。

■新設のきっかけをお聞かせください。

●高副社長：売上の伸びに伴い、社員の数が増えたことです。大阪市福島区でワンフロアを借りていたのですが、収まりきれなくなりました。

■いつ決心されたのでしょうか？

●高副社長：本格的に物件を探し出したのは2015年の9月からです。建物がしっかりしていてきれいで、土井社長と相談して11月にこの建物に決めました。いちばんの決め手は場所の利便性です。設計事務所さんも多く、ステータスも以前に比べて上がりました。

■新設されて変化したことをお聞かせ



▲北区中之島にある「府立中之島図書館」。1904(明治37)年完成の建物は国の重要文化財に指定されている。

ください。

●高副社長：工事部、営業部と幹部、業務部と、3フロアに分けることで、個人のスペースを確保でき、広く使えるようになったことが大きな変化ですね。以前は狭くて各々のデスクすら置けず、会議も満足に開けませんでした。

■新社屋になり、職場が明るい雰囲気

■従業員の方からの評判はいかがでしたか？

●高副社長：広くなったことによる開放感と自分のデスクをもてたこともあり、雰囲気が明るくなりました。とくに女性は、狭い室内に一日中いましたから、いまはとても喜んでます。

■業務に対する意識も変わったのでしょうか？

●佐山支店長：入社して15年目で、社内では古いほうになりましたが、高副社長が入社されてから良い意味で紧迫感が生まれました。その結果業績が伸びて今回の社屋新設につながりました。業務に対する意識は今まで以上に高まると思います。

●高副社長：同業者で営業管理職をしていましたが、業務拡大の実績をかわれたからか、土井社長のお誘いをお受けし、2007年に入社しました。



▲中之島にある「大阪市立科学館」(左)と「国立国際美術館」(右)。休日は多くの来館者で賑わう。

●佐山支店長：“待ち”の営業が“攻め”になりました。意識面から業務面まで、すべてが良い方向に動いていきました。

●高副社長：当時はゼネコンの下請けという立場でしたが、いかに力をつけ、直接請け負えるシステムをつくるかということが目的の一つでした。そのため、日本特殊塗料(株)が親会社ですので、同業他社にはない与力があることを訴えて、積極的に営業展開していきました。また、競争力をつけるために、受注価格から受注形態まで徹底的に見直しました。

■先を見据えた営業ということでもあるのでしょうか？

●高副社長：大規模修繕工事はもとより、近年は設備工事も手がけるようになり、大手化学メーカーの積水化学工業(株)から、そのノウハウをもつ私たちがパートナーに選ばれました。さらに、



▲経理、総務など業務担当の6階(上)と、営業と幹部の方々が入る5階(下)。3、4階は賃貸に出している。フロアは分かれたが行き来は簡単で、風通しもよくなったという。

需要が増えた耐震化工事の準備も進めており、これからはマンションの建物に関することは何でもできる改修ゼネコンでなければならないと考えています。

■「技術営業」の集団としてよりレベルアップ

■ユーザーのニーズは変化しているとお感じでしょうか？

●高副社長：主なユーザーは、マンションの住民の皆様で組織されている管理組合ですが、まず工事の安全性が要求されます。さらに、当社は上場企業の子会社ですので、コンプライアンスが要求されます。また、作業員のモラルのニーズも高まっています。現場では作業員は常に見られています。服装や態度に関する厳しいルールを設け、教育された作業員を配置しています。作業員の印象がPRIにもつながります。

■口コミで評価が広がるということでしょうか？

●高副社長：着工時、周辺にも挨拶に回りますが、竣工後、隣の住民の方から声をかけられた例があります。現場監督個人へのオファーも受けました。

●佐山支店長：それが「技術営業」だと思います。現場に出ている人間も営業マンです。いま、40歳前後のベテランの域に入る者に声がかかっています。

●高副社長：年齢に関係なく、熱意のある者を見極めて発掘しました。また、いままで一方的に発信していた会議のスタイルも変え、社員が話しやすい雰囲気をつくって問題を提起してもらい、全員で解決する形にしました。私も笑顔

■そのために力を入れていることがあればお聞かせください。

●高副社長：年齢に関係なく、熱意のある者を見極めて発掘しました。また、いままで一方的に発信していた会議のスタイルも変え、社員が話しやすい雰囲気をつくって問題を提起してもらい、全員で解決する形にしました。私も笑顔



▲2階は工事や現場担当のフロア。シャワー室を新たに設け、夏場など帰社して汗を流すことができ、工事部からの評判もいい。



◀ 役員の打ち合わせに使う7階の経営企画室にある、中国の「古琴」。形が人間の体を表していることから、みんな健康でいようという願いを込め、土井社長が中国・揚州で購入し、飾っているとのこと。新築にあたり、棚も特別につくった。

●佐山支店長：目標を設定し、それを定期的に検証するという繰り返しもいまにつながっていると思います。

■今後の展望をお聞かせください。

●佐山支店長：私がチャンスを得たように、従業員にどんどんチャンスを与え、実力のある者を引き上げ、底上げしていきたいですね。

●高副社長：人も増え、事務所も構えました。社員が丸一丸となって、そして業績が上がれば、またいい人材が集まるという好循環をつくっていきたく思います。「マンション改修ゼネコン」オンリーワン企業を目指したいですね。

■趣味をお聞かせください。

●佐山支店長：仕事と言いたいところですが、サーフィンです。この辺りですと伊勢ですが、波があれば、静岡の御前崎まで行きます。

●高副社長：孫が男3人女3人おられます。休日にはだれかが遊びに来ていますので、子守りをしています。休日のほうがしんどいです(笑)。男の子はヒーローごっこが好きですから怪獣役、女の子にはままごとの相手をさせられています。当分は趣味はもてません(笑)。

■本日はどうもありがとうございました。

PROFILE

- ニットクメンテ株式会社
- 設立/1980(昭和55)年6月
- 資本金/1億円
- 代表者/代表取締役社長 土井義彦
- 大阪支店 (近畿・北陸ニットク・アメニティシステム会員)
- 所在地/〒550-0003 大阪市西区京町堀2-10-20 電話(06)6445-2109 FAX(06)6445-2102
- 事業内容/外壁改修工事、改築・改装工事、一般建築工事、管改修工事
- 従業員数/40名(大阪支店)

◀7階建ての大阪支店社屋外観。ビル名は「NTM京町堀II」。「I」はあるのか、「II」はいつ建てるのかと聞かれますが、「II」は2丁目の意味です(笑)。(高副社長)。

二和カラー株式会社



社名を変更し、県の北部に拠点を設置したことで、社員の意識も高まり、可能性が広がりました。これからも、お客様と社員に寄り添いながら魅力ある会社づくりをしていきたいですね。

代表取締役社長 **田中 充**



「湯けむり展望台」から見た、随所から湯けむりが立ちのぼる「鉄輪温泉街」の風景(左)。大小多くの温泉施設があり、古くからの湯治場の雰囲気を残している。温泉の噴気で食材を蒸し上げる名物料理「地獄蒸し工房」もある(右)。



▲市内中心部と高崎山を結び国道10号に面した「田ノ浦ビーチ(田ノ浦公園)」。自然豊かな海浜公園で、人工島や帆船の形をした「カピタン号」があり、市民の憩いの場となっている。砂浜と緑が美しく、別府湾の眺望も良い。

大分県中部に位置する温泉都市、別府市。市内各所で温泉が湧出し、源泉数は2,000を超え、湧出する湯量は毎分8万ℓに及ぶ、日本最大の温泉地です。「別府温泉郷」として有名で、約900万の観光客が訪れる観光都市として発展しています。

* *

その別府市に本社のある二和カラー株式会社をお訪ねし、代表取締役社長の田中充さんにお話をうかがいました。

■創業はいつでしょうか？

●2代目社長だった現会長の父・岡崎守が、戦後、福岡の塗料販売会社に勤めたあと、1950(昭和25)年に出身地の別府で「合資会社二和塗料商会」として創業しました。

■ご入社はいつでしょうか？

●当時社長の現会長から誘われ、大学卒業後すぐの2001(平成13)年に入社しました。会長の長女が高校、大学の同級生だった縁で、学生時代にこの会社でアルバイトをしていましたが、まさか入社するとは思いませんでした(笑)。メーカーさんで1年間研修したあと戻って長女と結婚し、25歳のと

きに専務になりました。3代目社長に就任したのは2014年です。

■25歳から経営に携わっていたのでしょうか？

●教育学部出身で、経営の知識もまったくない状態でバトンを渡された形です。しかも決算書を見たら、バブル崩壊後の業績は惨憺たる状態(笑)。社員にも危機感が伝わっていませんでした。人事制度やマーケティングの改革をしようとしても、最年少ですから反発を受けました。いら立ちと恐怖感で精神的に追いつめられた時期もありました。

■互いに認め合う風土づくりに腐心

自信を失っていた29歳のころ、著名な実業家の勉強会に参加したことが大きな転機になりました。所属して半年後に偶然その方にお会いでき、経営の苦しさを吐露したときに背中を押されました。また、自分の価値観で経営していたことにも気づきました。社是の1つ「利他」もその方のモットーです。

■社是をお聞かせください。

●「感謝・利他・創造」です。30歳の誕生日の朝に突然頭に浮かびました。「利他」という言葉を胸に刻み、社員が当社にいてくれることも含め、すべて感謝の気持ちで受けとめようと、社是に掲げました。

■改革のためにどのようなことに取り組みましたのでしょうか？

●それまでなかった、情報共有と人を育てる仕組みづくりです。まず社員一人ひとりの話を聞くようにしました。営業日報も必ず読むと宣言し、夜中や移動中に目を通し、全部コメントを書いてレスポンスしました。

■エポックメイキングとなった出来事をお聞かせください。

●社名を変え、株式会社に組織変更したことです。「塗料」という言葉はとくに若い方に馴染みが少ないという現実もあり、60周年を迎えた2010年に改称しました。

■社名の由来をお聞かせください。

●いろいろな方から、塗料のイメージは、塗ることで景色や環境を美しくし、気持ちを明るくする「色」だという声を聞き、「カラー」にしました。単に材

料を売るのではなく、色を届ける気持ちで仕事に取り組んでほしいという社員へのメッセージも込められています。

■ラッキーだったリーマンショック

■ちょうどリーマンショックの時期ですが……

●いいタイミングでした(笑)。社員は危機感を肌で感じ、これからは自分たちで会社をつくっていかねばならないという意識が生まれました。売上は最下点でしたがポジティブになり、ここ5年で業績は急速に改善しました。

■現在の業務内容をお聞かせください。

●売上の6割が建築にかかわる塗料、防水材、シーリング材などで、残りが工業用、自動車補修用、汎用船舶用の塗料です。とくに伸びているのはリフォーム、改修市場です。

■ニットクへのご要望がありましたらお聞かせください。

●20年ほど前、防水材、シーリング材を扱い始めたときに、「ブルーフロン」「ユータック」というブランドが大分の市場に浸透していたことから接点があったと聞いています。ニットクさんの



別府にある本社社屋(左)と、2015年に開設された北部出張所(右)。ロゴマークのデザインは、社員と一緒に考えたという。

技術力とスピーディーな対応にはいつも感謝しています。東日本大震災直後、ウレタン樹脂の供給が制限されたとき、いち早く「ブルーフロンC-300」を開発していただいたときは助かりました。

■これからの塗料業界にはどのようなことが必要だとお考えでしょうか？

●変わる覚悟だと思います。歴史が長い業界ですが、現状に甘んじていると取り返しがつかなくなります。これからは、よりいっそう異業種との競争にさらされます。消費者の皆様に使っていただけるような価値を、積極的に発信することが必要だと思います。

■今後の展望をお聞かせください。

●宇佐から北のお客様をサポートするための営業・物流拠点として、2015

年に宇佐市に出張所を設置し、別府と大分の3拠点になりました。いい意味で切磋琢磨できているので、新しい拠点の展開も視野に入れながら取り組んでいきたいですね。そして、可能性を限定せずに、社員が生き生きと働ける環境をつくっていききたいと思います。

■趣味をお聞かせください。

●経営者仲間に勧められて5年前に始めたトリアスロンです。学生時代はサッカーでしたが、ポジションはゴールキーパー。瞬発力しかなかったので、最初の大会は海に飛び込んだ瞬間、この世の終わりかと思いました(笑)。いまは年数回は必ず大会に出ています。

■本日はどうもありがとうございました。

PROFILE

- 二和カラー株式会社
- 創業/1950(昭和25)年10月1日
- 資本金/1,000万円
- 代表者/代表取締役社長 田中 充
- 本社所在地/〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町2-36 電話(0977)23-3327代 FAX(0977)25-2596
- 事業内容/塗料の卸・販売、防水材・シーリング材の卸・販売、塗装・防水関連資材・機械工具・塗装設備の販売、塗料選びの御相談、建物の塗り替え工事
- 従業員数/22名



▲2014年に完成した、城門をモチーフにしたJR九州「大分駅」の北口(「府内中央口」)。翌2015年には北口駅前広場がオープンし、さまざまなイベントが開催され、訪れた観光客を楽しませている。



別府には多くの自然湧出の源泉があり、そのうち、奇観を呈する8つを「地獄」と呼び、それらを周遊する「別府地獄めぐり」が観光コースとして定着している。「海地獄」(左)と「白池地獄」(右上)、「血の池地獄」(右下)、「龍巻地獄」の4つの地獄が国の名勝に指定されている。



▲営業本部と業務本部がある大分店。今回は、この大分店でインタビュー取材をさせていただいた。

■塗料事業本部

●ニットク・アメニティシステム連合会——「平成28年総会を東京・天王洲アイルで開催」

「ニットク・アメニティシステム連合会」(会員数456社)の平成28年総会が昨年の11月18日、東京・天王洲アイルの「第一ホテル東京シーフォート」で開催されました。

総会は藤原副会長の「開会の辞」で始まり、その後、前田理事と出席者全員で



▲藤原副会長による開会の辞



▲前田理事による会員憲章の唱和

「ニットク・アメニティシステム連合会会員憲章」の唱和が行われました。

続いて長崎会長の挨拶では、「今日はお忙しいなか、ニットク・アメニティシステム連合会の総会にお越しいただきまして、まことにありがとうございます。先の理事会におきまして、本年度のニットク、また我々ニットク・アメニティシステム連合会会員の売上実績を聞き、昨年度より若干ではありますが増えているということで、この場に立たせていただく者として安心していきます。毎年のごときはございますが、世の中のほうも若干、景気は持ち直しているようです。地域においての差があると聞いていますが、我々が頑張れば、なんとかなる環境がここ何年かできてきているということでしょう。ニットク・アメニティシステム連合会の売上は、現在はニットク全体の10%ちょっとですが、来年度、再来年度において



▲長崎会長の挨拶

は、少なくとも20~30%のシェアをとれるように、会員の皆様にはいっそう頑張ってくださいと思います」と述べられました。

続いて、長崎会長が議長に選任され、第1号議案から第5号議案が審議され、承認・可決されました。また、第6号議案「役員改選(案)承認に関する件」では、穂坂会長のほか、9名の新役員の方々が選任され、重責を担っていただくことになりました。新会長に就任された穂坂会長からは、「皆様との融和をはかりながら、楽しい会の運営ができるように、努力をしてまいりたいと思っています。皆様の今後とものご指導、ご鞭撻をお願いいたします」との挨拶を受けました。



▲穂坂新会長の挨拶

- 会 長 穂坂博史(九州/株ダイニチ)
- 副会長 佐々木康之(東北/株佐々木商会)
- 副会長 宮本英樹(四国/宮本防水塗装株)
- 理 事 田辺 淳(関東・甲信越/株五十鈴)
- 理 事 前田卓哉(北海道/札幌ベック株)
- 理 事 野村達生(近畿・北陸/株野村塗装店)
- 理 事 加藤正和(東海/カトー建材工業株)
- 理 事 長崎和孝(中国/株長崎塗装株)
- 理 事 水野賢治(日本特殊塗料株)
- 会計監事 西井博文(九州/株ニシイ)



▲新役員の方々

なお、第3号議案で承認された平成28年度の事業計画は以下のとおりです。

- ①日本特殊塗料のすべての塗料・工法の採用に取り組んでいきます。
- ②今年度も引き続き、「遮熱塗料シリーズ」「NTサーモバランスNEO1」「シルビアセラティーN」の採用拡大に取り組めます。
- ③ニットク・アメニティシステム会各地区と日本特殊塗料株の連携を密にして、効果的な運用により、顧客のニーズにより一層応えていきます。
- ④ニットク・アメニティシステム連合会ホームページの充実化をはかります。
- ⑤広告・宣伝活動および官庁、設計事務所などへのPR活動を推進します。
- ⑥ニットク・アメニティシステム連合会理事会を年3回開催し、効率的な会の運営をはかります。
- ⑦ニットク・アメニティシステム連合会ニュースを発行します。
- ⑧ニットク・アメニティシステム会各地区の技術委員会、広報委員会、支部会議の強化をはかります。

その後、本年度の優秀会員の表彰が行われました。表彰を受けられたのは以下の方々です。

- 日本特殊塗料株社長賞(20社)
- (株)昌栄 東京支店(関東・甲信越) ※16年連続
- (株)オキナワ技研(九州) ※16年連続

- アサヒカラコン(株)(近畿・北陸) ※14年連続
- 九州防水(株)(九州) ※12年連続
- (株)ミカド(九州) ※12年連続
- (有)マエダ化研(近畿・北陸) ※11年連続
- 新生建工(株)(東海) ※9年連続
- (有)村防水(九州) ※8年連続
- (株)スギモト(九州) ※6年連続
- 古賀工業(株)(近畿・北陸) ※4年連続
- (株)安河内工業(九州) ※4年連続
- (株)ナカムラ(関東・甲信越) ※3年連続
- 小田建塗工業(株)(東海) ※3年連続
- (株)星塗装工業(北海道) ※2年連続
- (株)ワタナベ建装(東北) ※2年連続
- (株)牛川塗装工業(関東・甲信越)
- (株)ハスナ(関東・甲信越)
- (株)タケヤ(東海)
- (株)駿河コーポレーション(九州)
- 山外工業(株)(九州)



▲社長表彰

■ニットク・アメニティシステム連合会会長賞(6社)

- 九州防水(株)(九州) ※12年連続
- (株)ミカド(九州) ※12年連続
- 新生建工(株)(東海) ※9年連続



▲総会会場



▲会長表彰

- (株)スギモト(九州) ※6年連続
- (株)ナカムラ(関東・甲信越) ※3年連続
- 小田建塗工業(株)(東海) ※3年連続

■叙勲・褒章・大臣表彰(1社)

- (株)ダイニチ(九州)国土交通大臣表彰

■功労賞(1社)

- (有)フジワラ翔(東北) ※全国理事20年連続

表彰に続いて、合同技術委員会、合同広報委員会の報告があり、メーカーを代表し当社の酒井社長から、「ニットク・アメニティシステム連合会は「製・販・装」一体の全国組織であり、ニットクの塗料ビジネスの根幹をなすものです。今年でニットク・アメニティシステム連合会は設立33年になりますが、これほど長く継続して発展できているのも、会員の皆様のご支援とご協力の賜と、深く感謝しています。これからもニットク・アメニティシステム連合会が発展できますように、ニットクは皆様から信頼され、そして皆様の信頼に応えられますように、一所懸命、全員で頑張っておりまして、よろしくお祈りいたします。

早いもので、東日本大震災からもうすぐ6年になります。毎年、今年こそは1年間無事に過ごせるようにと、祈っていましたが、残念ながら今年も熊本地震によって甚大な被害が発生してしまいました。被災された方々には、本当にお見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い復旧と復興をお祈りいたします。ニットクでは、安全確保や塗料の生産・供給において、お客様にご迷惑をおかけしないように、防災対策、事業継続プランの構築をしっかりと進めたいと思います。

今年、ニットクは創立87年になります。会員の皆様には、長い間ご愛顧いただきまして、本当にありがとうございます。しかし、私どもを取り巻く情勢は不安定で、先日のアメリカ大統領の選挙のように、まさかと思うようなことが現実になります。この先、なにが起こるかわかりません。よって1年1年、緊張感をもって、また皆様と一緒に、一つひとつ着実に仕事を積み重ねていきたいと考えています。

塗料事業についてですが、この上期は残念ながら非常に厳しい結果でした。とくに大きなマイナス要因があったということではないのですが、全体的に販売、生産とも少し低調でした。10月に入っても、



▲酒井社長の挨拶

なかなか回復傾向がみえず、11月に入って、やっと風向きが変わってきたかと実感しています。今期も残り5カ月あります。これからも引き続き会員の皆様のご協力、ご支援を賜りたいと思います。よろしくお祈りいたします。皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたします」との挨拶がありました。最後は宮本副会



▲宮本理事による閉会の辞

長の閉会の辞で今回の通常総会を終了しました。

本年度も「ニットク・アメニティシステム連合会」の一層の発展と飛躍が大きく期待されます。

■自動車製品事業本部

「TNA社新倉庫竣工」塗り床材にユータックを採用

ジャカルタにあるTNA (P.T.Tuffindo Nittoku Autoneum) は、インドネシアの昨今の経済成長を背景に、2012年の会社設立以来、順調に生産量を伸ばすことができ、このたび隣接地に2万7,000㎡の土地を購入し、約6,000㎡の建屋を建設する運びとなりました。

新倉庫建設は9月末に完工し、10月には竣工式を開催し、全社員で安全と繁栄を祈願しました。倉庫の床は、当社塗り床

用塗料「ユータックE-30N」で施工を行ない、生産工場としても転用できるような構造となっています。また、天井には明かり取りを積極的に取り入れて、照明にLEDを採用するなど、環境にも優しい仕様となっており、従業員への福利厚生の一環として、食堂、休憩室、礼拝部屋、フットサルコートなども備えています。

TNAは、ニットクJV工場として唯一、南半球に位置している場所ですが、イン



▲竣工式

ドネシアは日本からは7時間ちょっとで行くことができ、世界でも有数の親日国です。今後も飛躍が期待されます。



▲新倉庫 「ユータックE-30N」で施工された床面▶



■自動車製品事業本部

『モーターファン・イラストレーテッド』Vol.121で当社自動車用防音材を紹介

「音・振動をやりこめろ!」と題し、10月15日に『モーターファン・イラストレーテッド』(三栄書房・自動車専門誌)が発売されました。執筆は、今回も福野礼一郎氏(自動車評論家)です。一昨年の『カーグラフィック』誌に続き3度目となりました。今回、三栄書房から福野氏へ執筆の依頼があり、「音の特集であればニットクだ」と、福野氏の推薦をいただき実現した企画です。

取材は終日におよぶ長丁場でした。本来は1日で説明するものではないような社員教育用の資料を使ったこともありますが、妥協のない質問もいただき、誌面

は内容の濃いものとなっています。

40ページの特集のうち、当社の記事は、「CHAPTER1:NとVと防音材を理解する」と題され、「振動と音」の基礎編から、防音材を制振材、遮音材、吸音材とテーマ

に分けて解説し、防音材の設計までをまとめた12ページです。振動とは、音とは、といった基本的なことにはじまり、なぜ防音材が必要なのかなど、素人でも防音材について良くわかるようにまとめられています。また、図や当社の自動車製品ショールームの写真なども随所に使われ、普段は見ることのできない防音材も見られます。ぜひ書店でお買い求めください。



▲「モーターファン・イラストレーテッド」Vol.121

■塗料事業本部

「御前崎風力発電所」でウインドハローが採用

静岡県御前崎市にある、中部電力・御前崎風力発電所の風車に風力発電ブレード用塗料「ウインドハロートップコートF」が採用されました。

御前崎市は東に駿河湾を、南に遠州灘を望む岬にあり、遠州灘側は強い偏西風が吹くため、海はウインドサーフィンや

ボディボードなど、マリンスポーツのメッカとして世界的にも知られているほどです。風力発電所としてはうってつけの場所ですが、海岸には砂丘が続いており、風で舞い上がった砂はブレードに当たり、劣化を促進させます。

過酷な環境に暴露されるため、中部電

力での試験結果により、高耐久性のフッ素樹脂塗料が採用されました。改修は、とくにリーディングエッジという、風に向かう面の損傷が早いので、リーディングエッジの損傷防止を目的として行なわれました。今回はウインドハロートップコートFの耐久性に期待がかけられています。



▲御前崎風力発電所の風車



▲「ウインドハロートップコートF」の施工

■塗料事業本部

「湘南ひらつかテクノフェア2016に出展」

10月20日から22日の3日間、「ひらつかサン・ライフアリーナ」にて今年で12回目となる「湘南ひらつかテクノフェア」が開催されました。毎年湘南地区を中心に県内から100社あまりの企業の出

展があり、業界の枠を超えた情報交流および最新技術の体感ができることで毎年反響の高いイベントです。

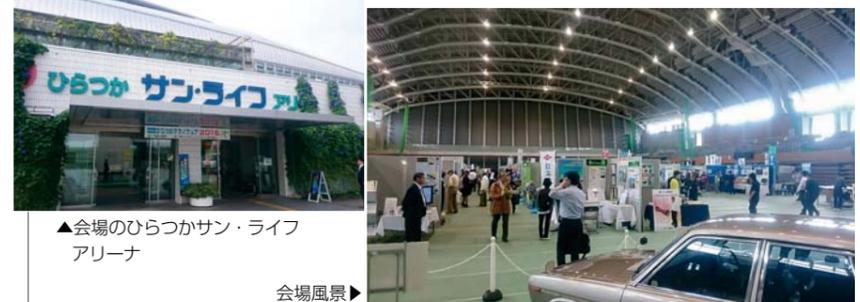
今回のニットクブースでは、ニットクの代名詞でもある遮熱塗料を中心にPR



▲ニットクブース

しました。とくに「NTサーモバランスNEO1」のデモ機では、来場者、出展企業のみなさんに実際に温度の変化を肌で体感していただくことで、関心を持っていただきました。

弊社を含め日常では間近に触れることの少ない製品や最先端のノウハウを体感して学べるため、近隣の方は次回は是非ご来場ください。



▲会場のひらつかサン・ライフアリーナ

会場風景▶

■塗料事業本部 「飛燕レストアプロジェクト」に航空機用塗料で協力

「飛燕」とは第二次世界大戦中に川崎航空機（現川崎重工業）が設計、製造した旧日本陸軍の戦闘機で、今では「経済産業省・近代化産業遺産群」に認定された航空遺産です。「飛燕レストアプロジェクト」は、現在の所有者である日本航空協会の依頼により今から約3年前にスタートしました。実際のレストアは川崎重工業岐阜工場で行なわれ、当社は同社より依頼を受け、調査から塗料提供まで全面的に協力をさせていただきました。

昨年の10月15日から11月3日には、お披露目として川崎重工業創立120周年記念「世界最速にかけた誇り高き情熱」と題し、神戸市の神戸ポートターミナル大ホールで一般公開されていました。修復された「飛燕」は、故郷の岐阜県各務原にある「かかみがはら航空宇宙科学博物館」で常設展示されていく予定です。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。プロジェクトの開始当初は、機体全面再塗装の案もありましたが、最終的にはラ



▲当社の製品で塗装されたラダー、エレベーター部

ジューターや防弾板など、限定的に使用されることになりました。外装では、防眩塗装のほか、ラダー等の駆動部が羽布製であるため塗装をしています。レストアでは、できるだけ当時のものを使いたいとの考えもあり、調査から大変なご苦労があったようです。今回、レストア中の撮影を特別に許可していただきましたので、神戸での展示の模様と併せてご覧ください。



▲展示風景 当社の製品で塗装されたラジエーター



▲レストア中の飛燕



新製品紹介

水性硬質ウレタンコンクリート系塗り床材

ユータックコンプライトG薄膜

「ユータックコンプライトG薄膜」は、高い光沢を持つ標準膜厚2mmの水性硬質ウレタン塗り床材です。耐摩耗性、耐薬品性などの物性に優れ、材料の使用量を従来品より40%以上削減できます。

■特長

- ①標準膜厚2mmの高光沢水性硬質ウレタン塗り床材です。
- ②無機成分と有機成分の反応により、高い耐摩耗性を有する緻密で強靱な塗膜を形成します。
- ③ホルムアルデヒド、厚生労働省・室内濃度指針に該当する「13VOC」、鉛・クロムなどの有害物質を含まない環境

対応型の製品です。

④従来品より膜厚を薄くしたことで、単位面積当たりの使用量、材料費を抑えることができます。

■用途

- トラックなどの重量車両が走行するトラックヤード、駐車場、フォークリフ

トやAGV（無人搬送車）などが頻繁に走行する物流倉庫や一般工場、安全性が要求される病院や学校

■荷姿

- 20.5kgセット(A液：4kg、B液：4kg、パウダー：12kg、トナー：0.5kg)

※施工程により、使用するB液は異なります。



▲「ユータックコンプライトG薄膜」で施工された床面

■塗料事業本部 「平塚市博物館～ロケット特別展」で、当社のロケット産業への取り組みが紹介される

平塚市博物館で10月22日から12月18日まで、秋期特別展「知られざる平塚のロケット開発」が開催され、展示のなかで当社のロケット産業への取り組みが紹介されました。

戦前、いま平塚市博物館のある場所には「海軍火薬廠」があり、兵器の開発・製造が行なわれていました。この技術が、日本の宇宙開発の父である糸川英夫に受け継がれ、戦後のロケット開発黎明期を

支えたのだそうです。

藤井学芸員は、ロケットの歴史について、足掛け2年をかけて調査されました。平塚市博物館のモットーは、「すでに価値あるものの収集ではなく、価値を発掘し広めること」だそうです。今回の調査では、JAXAや大学等の研究機関を訪問されましたが、公開されていない資料が多く、探し出した資料を使用できるようにアーカイブしてもらおうという、通常とは



▲会場の平塚市博物館



▲藤井学芸員と当社紹介コーナー

逆の手順をとるなど、ご苦労されたようです。

調査を進めるにつれ、平塚には今でもロケット開発に関わる企業や大学が数多くあることを知り、当社のロケット用の断熱塗料、「スカイハローE」などについてもご紹介いただけることになりました。ロケット関係は機密の部分も多く、とくに企業の情報に触れられる機会は少ないものですが、今回の展示ではそのような会社も並べて紹介されていました。しかし、まだ展示できていない資料もたくさんあるようで、第2回も考えているとのことでした。



▲展示風景



▲当社紹介コーナー

■塗料事業本部 「着氷防止塗料の開発」、宇宙航空研究開発機構（JAXA）との取り組み

現在、「宇宙航空研究開発機構・次世代航空イノベーションハブ」における「気象影響防御技術（Weather-Eye）コンソーシアム」のメンバーとして、着氷防止塗料の開発を進めています。

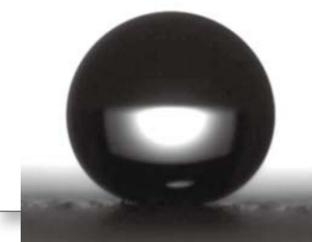
「次世代航空イノベーションハブ」は、航空イノベーション（革新）技術を創出するため、航空試験設備、基盤技術が整

っているJAXAに、他分野・他領域の人材・技術を糾合するオールジャパン体制の拠点として開設されました。

「次世代航空イノベーションハブ」におけるテーマの1つに、「気象影響防御技術（Weather-Eye）」があり、航空輸送を特殊気象（雪氷、雷、火山灰等）から守る技術に関して、JAXAと国内18機関（公的研究機関、大学、エアライン、メーカー）が連携協定（コンソーシアム）を締結した

上で、それぞれが得意とする分野で共同研究に取り組んでいます。

このなかで当社は、「防水コーティング（着氷防止塗料）」の開発に携わっています。航空機（主翼部）における着氷は、飛行性能の低下や燃費悪化の原因となるため、着氷防止に関する研究は、Boeing社（米）やAirbus社（仏）でも進められており、航空機業界として関心の高い技術テーマの一つです。JAXAと取り組んでいる着氷防止塗料は、超撥水塗膜（写真）に特長があります。現在は未だ試験段階ではありますが、優れた着氷防止効果を確認しています。今後、JAXAと共に研究・開発を推進し、世界に先立つ技術の確立に向け、より一層努力してまいります。



▲ウレタンクリアー上の水滴

▲着氷防止塗料上の水滴

■技術レポート

●1液溶剤形ウレタン樹脂塗り床材

「ユータックTMプロテクト」

「ユータックTMプロテクト」は、塗り床材の長期的な美観維持を目的に開発された、湿気硬化型ウレタン樹脂系クリヤー塗り床材です。

耐候性のよいウレタン樹脂を使用しているため、塗膜自体の変退色はほとんどありません。さらに、塗膜の劣化の要因となる紫外線を吸収する機能(UVカット効果)を有しており、「ユータックTMプロテクト」を塗布することで、下地の塗り床材の変退色も緩和することができます。

また、強靱な塗膜を形成するため、塗

膜に傷やタイヤ痕がつきにくく、耐薬品性や耐摩耗性に優れます。

厚膜、薄膜問わず、エポキシ樹脂系塗り床材、ウレタン樹脂系塗り床材の上に塗布することができ、耐久性の高い塗膜を形成します。

■特長

①美観の維持

工場や作業場、倉庫など、フォークリフトや作業車が台車等を走行する場所では、走行の際に付着するタイヤ痕や、搬送物により塗膜に傷がつくこと

で、美観が低下します。「ユータックTMプロテクト」は、そのようなタイヤ痕の付着や塗膜の傷を防止する機能を有した塗り床材です。(試験結果①)

②優れたUVカット効果

エポキシ樹脂系塗り床材や、厚膜タイプの硬質ウレタン樹脂系塗り床材を施工した工場や倉庫などの出入口付近では、太陽光が直接当たるため、経年でチョーキングや変退色が発生する場合があります。

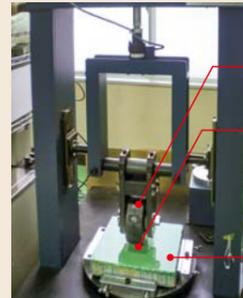
エポキシ樹脂系塗り床材の上に「ユ

■試験結果①/すえ切り試験機による耐摩耗性、タイヤ痕付着性試験

市販のアクリルウレタン樹脂系塗り床材を塗布し、さらにその上に「ユータックTMプロテクト」を塗布したものと未塗布のもの、フォークリフトの走行を想定したすえ切り試験を実施しました(写真左)。

試験後、本製品を塗布した部分と未塗布の部分で、タイヤ痕の違いが見られました。「ユータックTMプロテクト」を塗布した部分には、タイヤ痕が付着しにくいことが確認できます(写真右)。

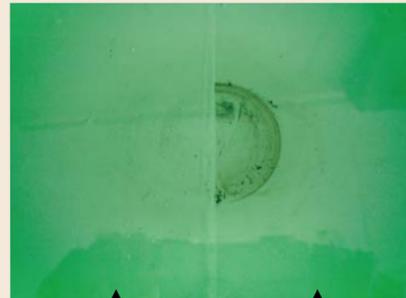
●すえ切り試験機



フォークリフト用ゴムタイヤ
試験体にゴムタイヤの荷重をかけ、試験体を回転させます

●試験条件
荷重:150kgf 回転数:20回転
速度:10rpm/min

●試験後の状態



ユータックTMプロテクト塗布
未塗布

■試験結果②/屋外暴露(6カ月後の塗装板)



未塗布 (艶引け・変色)
ユータックTMプロテクト塗布 (異常なし)

■試験結果③/耐薬品性能

試験項目	試験結果	
酸性	塩酸(5%)	異常なし
	硫酸(5%)	異常なし
	硝酸(5%)	異常なし
	燐酸(5%)	異常なし
	酢酸(5%)	異常なし
	乳酸(5%)	異常なし
	次亜塩素酸ソーダ(5%)	異常なし
アルカリ性	アンモニア水(5%)	異常なし
	水酸化ナトリウム(5%)	異常なし
	水酸化カルシウム飽和液	異常なし
	塩化カルシウム(5%)	異常なし

※スポット試験 30日間

■施工例



▲試験施工/当社平塚工場にてユータックTMプロテクトを塗布



▲現場施工/ユータックスーパーFハードの上にユータックTMプロテクトを塗布

「ユータックTMプロテクト」を塗布することにより、太陽光に含まれる紫外線(UV)が吸収されるため、エポキシ樹脂系塗り床材の変退色を防ぐことができます。(試験結果②)

③耐薬品性、耐摩耗性が良好

「ユータックTMプロテクト」は、耐薬品性や耐摩耗性に優れます。そのため各種塗り床材に、本製品を塗布することで、それぞれの性能を向上させることができます。(試験結果③)

④環境に配慮

「ユータックTMプロテクト」は、トルエンやキシレン、ホルムアルデヒドに代表される厚生労働省・室内濃度指針に該当する13物質を使用していません。また、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を取得しています(日本塗料工業会 登録番号:N03238)。

■試験成績

試験項目	試験結果	試験方法
硬度	2H	JIS K 5600-5-4 鉛筆法
付着性	100/100	JIS K 5600-5-6 クロスカット法
摩耗質量	40mg	JIS K 7204 / テーパー摩耗試験 (摩耗輪CS-17 9.8N荷重 1000回転)
耐水性	異常なし	JIS K 5970 耐水試験
促進耐候性	光沢保持率 80%以上	JIS K 5600-7-7 キセノンランプ法(1500時間)

⑤作業性、仕上がりが良好

「ユータックTMプロテクト」は、1液タイプの塗料であるため取り扱いが容易です。施工はローラーや刷毛等を用いて行ないますが、レベリング性が良好で高光沢な仕上がりになります(施工例参照)。

■用途

●各種工場床、倉庫・搬送床、事務所、会議室、研究所の実験室など

■適用下地

●ユータックE-30N、ユータックE-30Nローラー用、ユータックスーパーFハードN、ユータックE-40、ユータックR、ユータックFT、ユータックRマイルドなど

■荷姿

●ユータックTMプロテクト:8kg(9ℓ石油缶)
※1缶で60~80㎡施工できます。

■色相

●淡黄色クリヤー

■塗装仕様例/ユータックE-30N ハード流し展べ工法(2mm)保護クリヤー仕上げ

工程	材料	施工方法	可使時間(23℃)	使用量	施工間隔(23℃)
プライマー	●ユータックECプライマー	●ローラー ●刷毛	3時間	0.15kg/㎡	3時間以上72時間以内
中塗り1回目	●ユータックE-30N ●珪砂7号	●金コテ	30分	1.7kg/㎡	12時間以上72時間以内
中塗り2回目	●ユータックE-30N	●金コテ	30分	1.3kg/㎡	12時間以上72時間以内
上塗り	●ユータックTMプロテクト	●ローラー ●刷毛	—	0.10~0.12kg/㎡	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上

街を彩るニットの製品



■エステート宮の沢大規模修繕工事(北海道)
高弾性外壁防水塗材「ハイブルー大波工法」/2,483㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」295㎡
施工/㈱星塗装工業



■サーム野幌駅第2期大規模修繕工事(北海道)
高弾性外壁防水塗材「ハイブルー大波工法」/5,787㎡
建築用塗膜防水材「ブルーフロンX-2工法」/1,050㎡
設計監理/一級建築士事務所土谷設計
施工/㈱星塗装工業



■北海道電気工事株式会社札幌支店倉庫棟改修工事(北海道)
高弾性外壁防水塗材「ハイブルー大波工法」/1,773㎡
施工/㈱星塗装工業



■桜見晴らしグランドハイツ大規模修繕工事(北海道)
外装用微弾性塗料「シルビアサーフ」/2,428㎡
高弾性外壁防水塗材「ハイブルー上塗」/2,428㎡
施工/㈱星塗装工業



■北日本青果市場(青森)
屋根用塗料「マッキンレー」/2,000㎡
設計/八戸市役所
施工/㈱大坂塗装工業所



■むつ市私立大平小学校給食室(青森)
塗り床材「ユータックコンプリート」
/123㎡
施工/㈱長牛塗装店



■小岩運輸㈱(岩手)
塗り床材「ユータックE-30N0
ーラー用」(施工中)/1,300㎡
施工/(合)山口塗装店



■MCC教育会館(岩手)
外装用微弾性塗料「シルビアサーフ」+建築外
装用塗料「シルビアWS-300」/2,000㎡
施工/㈱TERUI



■プロスペールのぞみマンション(岩手)
外装用微弾性塗料「シルビアサーフ」+建築外装用塗料
「シルビアWS-300」/2,500㎡
施工/㈱TERUI



■ハードオフ仙台六丁の目店(宮城)
塗り床材「ユータックR」/1,360㎡
施工/㈱吉田塗装工業



■ヨークベニマル築館店(宮城)
非鉄金属用プライマー「エボラ#3プライマー」+屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/7,460㎡
建設/前田建設工業㈱東北支店
施工/㈱ワタナベ建築



■県民共済八乙女店(宮城)
建築用塗膜防水材用上塗り塗料「ブルーロンGRトッ
プ」/800㎡
塗り床材「ユータックA-N」/100㎡
施工/㈱フジワラ翔



■能代市立東雲中学校屋根改修工事(秋田)
屋根用塗料「マッキンレー」/3,000㎡
施工/能代塗装



■(株)小松写真印刷(山形)
シート防水材用上塗り塗料「ノンリークコート」/4,000㎡
施工/エスワン工業



■三川病院(山形)
シート防水材用上塗り塗料「ノンリークコート」/2,500㎡
施工/エスワン工業

街を彩るニットの製品



■小国川漁業協同組合さけふ化場(山形)
下地調整材「NTカチオンタイトF」、プール用塗料「プールエース」/197㎡
設計/㈱双葉建設コンサルタント
建設/丸充建設㈱
施工/㈱フュージョン



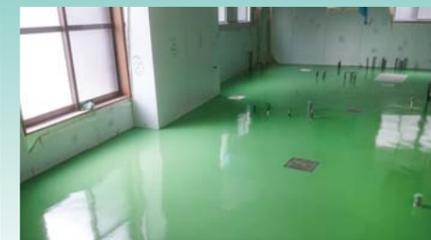
■㈱ライフーズ郡山(福島)
塗り床材「ユータックコンプリート」立上がり用厚膜/60㎡
施工/㈱ワタナベ建装



■(福井車検場) 福井事務所審査機器更新に伴う床面等改修工事(福井)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ防滑工法、ライン「ユータックR」/250㎡
建設/村中建設㈱
施工/㈱マエダ化研



■JA飛騨椎茸製造所高圧蒸気滅菌室・荷入室(岐阜)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-4F/180㎡
施工/㈱愛知レジン



■お千代保稲荷某車かつ屋(岐阜)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS/70㎡
施工/ライニング技術工業㈱



■日本精工㈱(NSK) 福島工場(福島)
非鉄金属面用プライマー「エポラ#3プライマー」、屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/14,000㎡
建設/前田建設工業㈱東北支店
施工/㈱ワタナベ建装



■川口市営前川4丁目住宅(埼玉)
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」PN-E30EF/950㎡
建設(元請負)/㈱カイシン
施工/㈱ハスナ



■松阪市某工場床改修工事(三重)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/200㎡
施工/ライニング技術工業㈱



■某銀行改修工事(三重)
建築外装用塗料「シルビアセラティエ-N」/850㎡
施工/㈱土谷塗装工業所



■松坂市衛生センター(三重)
塗り床材「ユータックE樹脂モルクリヤー」ユータックE-30N/700㎡
施工/ライニング技術工業㈱



■大昭和紙工業㈱王子印刷工場屋上改修工事(東京)
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法、建築用塗膜防水材用上塗り遮熱塗料「ブルーフロンGR」トップ遮熱/仕上げ/300㎡
施工/協和創建㈱



■某小学校屋上防水改修工事(東京)
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」スポーツ床防水工法/150㎡



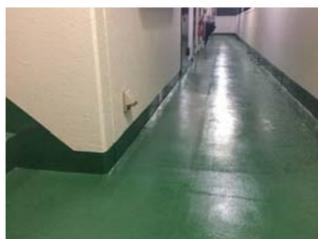
■シーサイドハイツ早川(神奈川)
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」PK-V30G工法/450㎡
建設(元請負)/武田塗装㈱
施工/㈱ピーワークス



■松阪市某老人ホーム屋根改修工事(三重)
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/1,100㎡
施工/㈱土谷塗装工業所



■津市某造船工場床改修工事(三重)
塗り床材「ユータックE-30N」流し展べ工法/1,400㎡
施工/ライニング技術工業㈱



■パークヴィラTTK全面改修工事(神奈川)
塗り床材「ユータックRマイルド」コーティング工法/150㎡



■㈱小松製作所第1棟、第2棟屋根塗装工事(長野)
屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」「スーパーパラサーモシリコンS」仕様/3,400㎡
施工/倉又工業㈱



■参天製薬能登工場クリーンエリア通路(石川)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/240㎡
建設/小倉建設㈱
施工/アサヒカラコン㈱



■某工場床改築工事に伴う塗り床改修塗装(三重)
塗り床材「NT水性速乾プライマー」「ユータックWE-400N」/11,000㎡
塗り床材「NT水性速乾プライマー」「ユータックE素地調整材ECO」「ユータックWE-400N」/5,000㎡
施工/㈱愛和

街を彩るニットクの製品



■パナソニック彦根工場(滋賀)
塗り床材「ユータックコンプリートG薄膜」/110㎡
施工/アサヒカラコン(株)



■某工場床改修工事(大阪)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」/732㎡
施工/ウエダ化成(株)



■タイヤ館鶴見花博店改修工事(大阪)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」/230㎡
建設/㈱コーケン
施工/古賀工業(株)



■山田梱包(株)(大阪)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」/300㎡
施工/古賀工業(株)



■防府市戸建外壁(山口)
建築外装用断熱塗料「NTダンネツコート」遮熱水性トップ仕上げ仕様/150㎡
施工/松田美装



■周南市戸建外壁(山口)
建築外装用塗料「シルビアセラティーN」水性プライマー工法標準仕様/150㎡
施工/㈱日光



■宇部市戸建外壁(山口)
建築外装用塗料「シルビアセラティーN」水性プライマー工法標準仕様/150㎡
施工/共立(株)



■ハート封筒八尾工場(大阪)
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ工法/200㎡
建設/山崎工務店
施工/アサヒカラコン(株)



■光洋機械工業八尾工場(大阪)
塗り床材「ユータックコンプリートG薄膜」/200㎡
建設/㈱三米建設
施工/アサヒカラコン(株)



■山口維新公園徒渉池(山口)
プール用塗料「プールエース」コンクリート・モルタル製
プール標準施工仕様/339㎡
施工/今村塗装(株)



■九州産業大学榎田スタンド広場床塗装補修工事(福岡)
塗り床材「ユータックテクノ」コーティング防滑工法/1,200㎡
施工/㈱ダイニチ



■医療法人社団高仁会ケアセンター等外壁改修工事(佐賀)
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/1,170㎡
施工/㈱ニシイ



■アグリリンク和歌山改修工事(和歌山)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPM-3N工法/280㎡
建設/㈱タチバナ
施工/古賀工業(株)



■グランコリーナ西神南大規模修繕工事・外部駐車場塗床工事(兵庫)
塗り床材「ユータックスーパーハードN」流し展べ防滑工法、「ユータックR」仕上げ/1,100㎡



■(株)ジェイ・オー・ファーマ(島根)
屋根用遮熱塗料「スーパーパラサーモシリコン」エコマリンブルー/5,800㎡
建設/岩崎建設(有)
施工/吉田塗装



■医療法人社団高仁会厨房改修工事(佐賀)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPM工法/220㎡
建設/㈱ニシイ
施工/㈱駿河コーポレーション



■大島造船所L棟(長崎)
建築外装用遮熱塗料「シルビアセラティーN遮熱」/2,763㎡
施工/山外工業(株)



■内浦住宅(長崎)
建築外装用遮熱塗料「シルビアセラティーN遮熱」/2,373㎡
施工/山外工業(株)



■キミセ醤油屋根外壁改修工事(岡山)
屋根用塗料「リリフNADシリコン」/3,000㎡
建築外装用塗料「シルビアUVカットシリコンリヤー」/3,000㎡
施工/㈱黒崎塗装店



■玖波小学校改築工事(建築主体工事)(広島)
超硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」NKD-SS30S工法/1,124.8㎡
超硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」NM-SS30S工法/799.2㎡
超硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」NMT-SS20S工法/229.4㎡
建設/㈱増岡組
施工/㈱フジミクレ



■熊本原肉生業新築工事(熊本)
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F工法/440㎡
塗り床材「ユータックコンプリート」CPM-3N工法/540㎡
塗り床材「ユータックコンプリート」CPL-6N工法/320㎡
設計/㈱景観都市設計
建設/㈱小竹組
施工/㈱駿河コーポレーション



■霧島酒造株志比田工場(宮崎)
塗り床材「ユータックコンプリートG薄膜」「ユータックコンプリート」立上がり用/500㎡
施工/古賀工業(株)



▲ユータックコンプリート立上がり用施工後



表紙イラスト/駒田寿郎

日本特殊塗料株式会社

■ 本 社 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6131 ●FAX(03)3913-6183

■ 開発本部・開発センター 〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15 ☎(03)5390-0661~6 ●FAX(03)3914-1085

■ 塗料事業本部

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6203	●FAX(03)3913-6323
平塚営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	●FAX(0463)23-3739
名古屋営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8111	●FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	●FAX(06)6338-3560
広島営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	●FAX(082)423-8256
福岡営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	●FAX(0942)89-5762
DIY販売部	〒123-0865 東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001	●FAX(03)3919-6681
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)22-6423
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
九州工場	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5661	●FAX(0942)89-5411

■ 自動車製品事業本部

営業統括部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0663	●FAX(03)3914-1085
東日本第1営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2132	●FAX(0463)23-3739
東日本第2営業所	〒374-0024 群馬県館林市本町2-5-47 TM21 プラザ2階204号	☎(0276)75-1571	●FAX(0276)75-1578
中日本営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8112	●FAX(0566)82-4600
西日本営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
東九州出張所	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)23-3739
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
東九州工場	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>